

安全な見守り活動のために

鶴見小学校PTAでは、校外委員会のつるみっ子見守り隊の活動や、校内委員会でのサポーター活動を通して、児童の登校安全見守り活動を行っています。

「具体的な旗ふりの仕方を知りたい」というご意見がありましたので、横浜市道路局作成の「はたふり誘導ハンドブック」より、横断旗の使い方などを抜粋しました。この用紙をよくお読みになって、日々の活動にお役立てください。

また、鶴見小学校学援隊では、年1回(春頃)登下校見守り活動研修を行っています。

案内が配布されましたら、ぜひご参加ください。

あわてない



『安全第一』
『慌てない』

自動車が並んでしまったり、児童がたまってしまっても、あわてずに行動しましょう。児童の安全が第一です。

自分の身も守る



車道には出ないことが原則です。やむを得ず車道に出る場合は、自動車の脇を通り抜けてくるバイクや自転車に十分注意しましょう。

大きく、はっきりと

曖昧な動作はわかりづらく、たいへん危険です。

自信をもって、
★わかりやすく、★大きく、
★はっきりと、★てきぱきと
行いましょう。



9

自動車に指示をしない



横断旗には自動車を止める強制力はありません。運転手に発進の指示をすることもやめましょう。

11

裏にも続きます

横断旗の使い方

児童を待たせるとき



1 児童が横断したり飛び出したりできないように、旗を地面と水平に持ちます。

2 児童が歩道ギリギリの所で待っていたら、「危ないから、ちょっと下がって待とうね」と声をかけて下さい。



5

車に止まってもらうとき



1 左右の安全を確かめ、

旗をとつぜん道路に出しても、車は急に止まれません！



2 旗をとつぜん道路に出さず、いったん頭上に上げてドライバーに合図します。



3 左手を使って、児童が飛び出さないように防ぎます。

6

横断旗の使い方

児童を横断させるとき



1 自動車が止まってくれたら、左右の安全をもう一度確かめます。



2 旗を道路に出して、児童を渡させます。

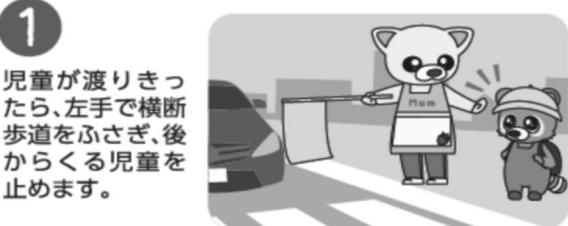
すり抜けてくる自転車やバイクに注意！



3 横断するときには、児童に手を上げるように指導をお願いします。

7

児童が横断し終わったら



1 児童が渡りきったら、左手で横断歩道をふさぎ、後からくる児童を止めます。



2 とつぜん旗を戻すと児童にぶつかる恐れがあるので、旗を一度頭上に上げてから元に戻します。



児童に旗をぶつけないように注意！

8

ご自身の安全にも十分注意しながら、児童の安全見守り活動をしていただくよう、よろしくお願いいたします。